

2026 年 10 月 3～4 日に栃木県宇都宮市 “ライトキューブ宇都宮” で開催された、第 47 回日本肥満学会学術集会の第 2 日目の様子をレポートします。

今回の学術集会では、2つの重要なメッセージが全国に発信されました。1つめが「**安全な減量に関するステートメント**」です。近年、減量目的で GLP-1 受容体作動薬（ウゴービ®、オゼンピック®、リベルサス®、トルリシティ®）や GIP/GLP-1 受容体作動薬（マンジャロ®、ゼップバウンド®）を使用した際に、ケトーシスやケトアシドーシスを発症して、救急搬送や入院に至る例が国内外で報告されています。これらの薬剤の不適切使用による健康被害についてしっかりと皆さんに知っていただく必要があります。全国ネットのニュースで報道されました。

2つめが、2025 年に日本肥満学会が提唱した新たな疾患概念、**18 歳から閉経前の女性における低体重・低栄養症候群（Female Underweight/Undernutrition**

Syndrome : FUS) に関する研究報告です。肥満学会で“痩せ”の報告？ そうなんです、幅広いですね。

日本では、BMI が 18.5 未満のいわゆる痩せ状態にある若年女性が先進国の中でも特に高率であり、その背景には、SNS やファッション誌などに影響を受けた痩せ願望や、体重に対する厳格な認知やボディーイメージの歪みがあることが認識されています。FUS は以下のように様々な健康障害が出現します。痩せすぎることは本当に体に良くありません。肥満と共に大きな問題です。

図表 1. FUSに含まれる主な疾患や状態

【低栄養・体組成の異常】 ・ BMI < 18.5 kg/m² ・ 低筋肉量、筋力低下 ・ 栄養不足（ビタミンD、葉酸、亜鉛、鉄、カルシウム） ・ 貧血（鉄欠乏性貧血）	【性ホルモンの異常】 ・ 月経周期異常（視床下部性無月経、希発月経）	【骨代謝の異常】 ・ 低骨密度（骨粗しょう症、骨減少症）
【その他の代謝異常】 ・ 耐糖能異常 ・ 低T3症候群 ・ 脂質異常症	【循環・血液の異常】 ・ 徐脈 ・ 低血圧	【精神・神経・全身症状】 ・ 精神症状（抑うつ、不安、集中力低下、認知機能低下） ・ 身体症状（全身倦怠感、睡眠障害、冷え性、頭痛、便秘、髪質肌質低下） ・ 身体活動低下

女性の低体重・低栄養症候群(FUS)とは？

ニッセイ基礎研究所 <https://www.nli-research.co.jp/files/topics>

さて、2 日間の活発な議論を終えて帰宅の途につきます。賢くお留守番しているはず(笑)の 3 人娘と夫に、JR 宇都宮駅でお土産を買います。宇都宮と言えば、やっぱり餃子ですね！主任部長、すべて違うお店の冷凍餃子を 8 箱もクール宅急便で自宅に送りました(でも、すぐなくなると思います…)。レモン牛乳・とちおとめ苺も有名です。





栃木の農家さん直送
とちおとめ苺のスムージー

こんなおいしいスムージー
生まれて初めてでした。



宇都宮のラッキーアイテム

無病息災 黄ぶなっこ

昔天然痘が流行った時に、病人
が黄色いフナを食べたところ治癒
した、という伝説があるそうです。

肥満症は奥が深く、糖尿病・内分泌疾患と密接に関連
しています。主任部長は北河内地域の皆様に“より良
い肥満症治療”を提供するために努力を続けます。

市立ひらかた病院の肥満症治療にご期待ください！